

はじめに

みなさま、はじめまして。

あつこと申します。

私は現在リボン講師として活動をしています。仕事をしながら趣味を充実させたい40代50代を対象にした大人かわいいリボン雑貨やアクセサリーを教えています。

学びにこられている方は、仕事をしながら趣味を充実させたい方、これから何かを始めていききたいと考えている方、リボンを習得して周りの方に広めていきたいと思っっている方などさまざまですが、みなさまとても生き生きされていて、おかげさまで私も楽しくお仕事させていただいております。以前の私は、

「主婦だけの人生から脱出したい！」

「自分の居場所を探したい！」

「人生をもっと豊かにしたい！」

「そういつも心の底で叫んでいました。」

本書を手にとっていただいた方もきっと同じ思いをお持ちの方だと思います。

それではなぜ、このような気持ちを持つようになったのでしょうか？

私には3人の子どもがいます。男の子が二人、末っ子は女の子です。

子どもが小さかったころはそれはそれは大変で、毎日が戦争!! 気が付けば1日があっという間に終わっていた印象です。

それでも試行錯誤しながらの子育ては発見することも多々あり、今まで知らなかった自己を知ることができ、本当に自分自身の成長につながったと自負しています。確かに記憶にないほど毎日が忙しかった(3人を同時に幼稚園に連れていくことの大変さは半端なかつたです。笑)のですがそれには代えられないほどたくさんの思い出や経験を得られ、今振り返ってもつらかつたことよりも

楽しかったことのほうが思い出されず。

なのはどうしてでしょう。何か満たされない自分がいたのです。

幼稚園に通っていると、私たちはよくこのように呼ばれます。

「○○ちゃんママ」「○○くんのお母さん」

最初は特に何も感じませんでしたし、事実なのですが、だんだんその呼び方に違和感を抱くようになっていきます。

「ここは子ども中心の世界。あくまでもお母さんなんだ」そう思ったら少し悲しくなりました。

母親であり、○○ちゃんママであり、妻ではあるけれど、私一人はどうなのだろう。

そんなことをいつも考えていた理由の一つには、自分の存在価値を認めてほしかったことがあげられると思います。いわゆる承認欲求ですね。そして自分を表現できるものが欲しい。自分を表現できる場所が欲しい。そんな願いも持っていました。ただそう思いながらも何もできず、刻々と数年が過ぎていきました。頭の中では考えていてもそれを実行に移すとなくなかなか一歩が踏み出

せなかつたのです。

そんなある日のランチ会で運命的なりボンと出会うことになるのですが、それからは本当に人生が変わっていきました。まず子ども中心の生活が自分中心の生活に変わりました。忙しくなったけれどその分充実しています。社会との接点ができ、視野が広がっていきました。

子どもつながりのママ友だけだった友達関係が変わり、さまざまな分野で活躍している素敵な友達がたくさんできました。考え方そのものが変わり、現状に甘んじない常に前向きに生きていくようになりました。まだまだ書ききれないのですが昔の私とは違う自分になっていったと思います。

本書は残念ながら年収〇千万になる成功法則などをお伝えするような内容ではありません。そのような大きな話では決してなく、今の生活をちょっとでも変えたい。少しでも豊かに暮らしたい。この先の人生をまた輝かせたい。そんな小さな幸せを願っている女性に、特に40代50代の女性に届けたいのです。またそれと同時にプチ起業をしてみたいと望んでいる方向けに私が実際に歩んできたことをドタバタ劇でお伝えしています。それがあなたの一歩を踏み出すお手伝い、またはヒントに

なってくれたらと思っています。さらにリボンに興味を持っていたらこんなうれしいことはありません。

子どもというのは成長し、いつかは離れていきます。小さかった子どものままではありません。

アラフォーアラフィフ世代でよく耳にするのはクリスマスの日に子どもたちは出かけてしまい、ご主人も飲みにいってしまい自分だけ家に独りぼっちになってしまった。なんていう話もありますよね。そんなときにも自分に一つでも何か軸のようなものがあればまったく違う時間が流れるでしょう。

自分の世界、自分の居場所。そんなものがこれからは必要なのではないのでしょうか。人生100年時代と言われる昨今、セカンドライフをどう生きるかはとても重要です。ご主人と二人で余生を楽しむのももちろん素晴らしいことですが、プラスしてあなたの世界があるだけでもっと豊かな第二の人生を歩めるのです。

そしてパートや社員として雇われるのではなく、自分で少しでも稼げるようになることはとても楽しいことですし、他人に認められると自信もついてきます。そして子どもたちにとっても母親の

違った側面を見せることは新鮮かつ良い影響をもたらすのではないでしょうか。

リボンに関しては今やオンラインで教えていくのが主流ですので、60歳70歳になっても続けられるお仕事ですし、定年がないのも魅力です。かわいいものはいくつになっても女性は好きですので、自分自身いつまでも若くいられるのもメリットです（笑）。

人生は長いようで短いものです。100年といえど、健康で元気な時期は限られます。

今の幸せに感謝しつつ、新しいことにぜひチャレンジするべきです。

人との関わりをどんどん増やし、新しいコミュニティを作ってみる。そうするだけで充実した人生がきつと待っていることでしょうか。

リボンを結ぶように、ご縁を結ぶ。そんなお仕事ができて本当に私は幸せです。

そんな幸せをあなたにも味わってもらいたいと心から思います。

本書を読んでセカンドライフを充実させるための一歩を踏み出すべく一緒に新しい世界に飛び出
しましよ。